

中京マチビト Café 開催報告



中京マチビトCafeとは？

中京の今後の自主的なまちづくりについて、ワークショップ形式で話し合う交流会です。まちづくりについての情報交換、交流の場として開催しています。

開催日時：平成24年11月8日(木)
午後7時～9時(開場午後6時～)
場所：中京区役所4階第一会議室
参加者：72名(運営スタッフ除く)

1 今回の目的

- まちづくりに関わる人々の情報交換・交流
- プロジェクトの芽、まちづくりに関わる人材の発見・発掘



2 プログラム

1 ぶちプレCafe

中京マチビトCafe前にほっこり交流Cafeタイム！

2 オープニング

- ・谷口委員長の挨拶
- ・本日のプログラムの説明

3 4マス自己紹介

自分が取り組む活動やテーマについて参加者同士で語り合いました。



4 意見交換のテーマを募集！

次に行う意見交換のテーマを会場から募集。会場の雰囲気誘われて、なんと18ものテーマが提案されました。

5 第1・2ラウンド「テーマ別意見交換」

テーマを第1R・第2Rに分けて意見交換スタート！それぞれ関心のあるテーマに集い、活発な議論が繰り広げられました。

6 中京マチビトCafe延長戦！

1週間後の11/15夜、まだまだ話し足りない方々が集まりました。それぞれ関心のあるテーマについて、たっぷりの時間、よりディープに話し合うことができました。



3 第1・2ラウンドのテーマ一覧 (詳細は裏面をご覧ください)

第1Rテーマ		第2Rテーマ	
1	20～30代のまちづくり	1	BiVi 二条こだわりマルシェ
2	人にやさしい防災(※後半も継続)	2	人にやさしい防災
3	防災での連携を	3	屋上緑化と朝蜂カフェ
4	就活支援？NO！生き方支援事業！(※後半も継続)	4	就活支援？NO！生き方支援事業！
5	京都かくれんぼ大調査！	5	街灯
6	左京区の課題！	6	銭湯でのイベント地域交流
7	救急医療情報キットを知ってもらうためのアイデアを	7	メンバー募集！「節分おぼけ」
8	地域・学生・行政の協働の在り方	8	町家×若者でおもしろいことしたい仲間募集
9	二条城の景観、使い勝手を良くしよう	9	歩くまち京都 中京区のかくれ場所情報収集
10	京都カラスマ大学を一緒にやったださる方	10	子どもが遊べる場所がほしい。もっと作りたい。

4 秋の夜長にアツ～く議論！

第3回中京マチビトCafe

今回は、前回のアンケートで多かった「もっと話がしたい！」というご意見に応じて、開場を早めて事前交流の時間「ぶちプレCafe」を設けました。もっと自由な交流を、という狙いどおり、屋上庭園産のハーブティーを飲みつつ、普段集うことのない多様な分野・年代の方々が、和やかにときに熱っぽく語り合う姿が見ることができました。さらに運営方法やプログラムを進化させて、次回は**平成25年2月1日に開催**いたします。どうぞお楽しみに！

参加者の声 (一部抜粋)

- 熱気があって驚いた
- 多様な世代、活動をしている方と知り合えた
- ぶちプレCafeで密な話ができた
- 行政の開催と思えない和やかな雰囲気だった

第1Rテーマ		内容
1	20～30代のまちづくり	前回に続き、若い世代のまちづくり参加をテーマとする意見交換。若い世代の地域への関わり方、参加促進、地域の受入体制の課題等が話し合われ、小さくても人が集まる機会をたくさん作り、芽を育てることが必要等の意見が出された。
2	人にやさしい防災 (※後半も継続)	災害弱者と呼ばれる人たちに何が出来るのか、避難所のあり方等について意見交換。福祉避難所は、障害のある人のニーズに対応していなければ役に立たない。電気は必要不可欠。発電機のほか蓄電池設置が必要等の意見が出された。
3	防災での連携を	防災での連携に向けた地域コミュニケーションの緊密化、ボランティアとの連携についての意見交換。入居者への訪問や学区単位の防災訓練など体験型取組、子供を絆に地域連携を深めることが効果的である等の意見が出た。
4	就活支援？NO！ 生き方支援事業！ (※後半も継続)	終身雇用制度、地域社会や企業コミュニティが失われつつある中、仕事と生きがいについて世代間に意識のギャップが生じているとする問題提起について。大人と若者との交流機会を作り、ギャップを埋めていく必要がある等の意見が出た。
5	京都かくれんぼ大調査！	子供の視点でまちの良いところ気になるところを調査するというアイデアについての意見交換。子供がかくれんぼを安全に、楽しく遊べる公園等の場所を調査することについて、今後、FB ページで参加者を呼びかける等の案が出された。
6	左京区の課題！	「左京朝カフェ」運営に参加している話題提供者を中心に、左京区の課題・魅力について意見交換。左京名物の叡電を応援しよう、左京区は広いのでバスを大切にしよう、新区役所は遠いけれども建物がキレイで良い、等の意見が出た。
7	中京区で救急医療情報キットを知ってもらうために	アピールする層を使用者本人(高齢者等)から周囲(家族等)に変更する、アーティストと協力してデザイン性を高める等のアイデアが出た。一方、個人情報であるため、認知症の方の取扱いや悪徳商法の対象になる危険等も挙げられた。
8	地域・学生・行政の協働の在り方について	学生が地域で活動したくても敷居が高い、地域が学生に来てほしくても方法が分からないという課題について。立命大ゼミ生の本能学区での取組、京産大ゼミ生の先斗町での取組、行政が学生と地域を結ぶ「むすぶネット」の取組が紹介された。
9	二条城の景観、使い勝手を良くしよう	前回に続き、二条城の景観について意見交換。二条城外延部の問題点、活用案等を提案書にまとめて配布する等のアイデアが出た。「延長戦」では、マンガミュージアム～三条通～二条城でコスプレまち歩きなどの具体的案が検討された。
10	京都カラスマ大学を一緒にやっこださる方。	京都カラスマ大学の活動を紹介し、共に取り組む人を増やしたいという話題提供者に対し、「教室」に小学校の空き教室の利用、まち歩きしながらまちの歴史や通りの由来について学ぶ講義があれば面白い等のアイデアが寄せられた。

第1・2ラウンドの話し合いの内容



※第2Rの2班、4班は第1Rと同じテーマで話し合っているため、再掲していません。

第2Rテーマ		内容
1	BiVi 二条こだわりマルシェと一緒に盛り上げてくれる方募集	BiVi 二条こだわりマルシェを盛り上げるために協力者やアイデアがほしいという話題提供者に対し、より多くのNPOの参加や新コーナーを設けるなどのアイデアが出された。
3	屋上緑化と朝蜂カフェ	中京区役所屋上庭園で実施している朝蜂カフェを継続するためのアイデアについて。冬季開催や参加者を集める方法について、ゲストを呼ぶ、プランターで植物を育てる、ハーブティや茶菓子も出すなどのアイデアが寄せられた。
5	街灯	街灯の設置を市民の力で解決する方法について。街灯は防犯・事故防止に繋がる、門灯はあるがつけられない人がいる、やわらかい電球色など明るさと景観のバランスが必要、子どもの絵などアートを切り口に楽しんで参加する仕組みが必要等の意見が出された。
6	銭湯でのイベント地域交流	銭湯を愛し、銭湯が減少していく現状を憂う人々による意見交換。銭湯文化を守るため、湯船やサウナでミーティング、オブジェ等の銭湯×アート、銭湯が連携した銭湯ミステリーツアーの開催等、地域交流の場に活用する等の意見が出た。
7	メンバー募集！「節分おばけ」は笑顔あふれるコスプレ行事	「節分おばけ」を開催する話題提供者に対し、笑いが福祉・健康・スポーツにつながる、こどもたちに伝統的な踊りを伝えたい、デイサービス施設を利用してほしい等、イベントを更に盛り上げるための連携やアイデアなどが出された。
8	町家×若者でおもしろいことしたい仲間募集	シェアハウスとして運営している自分の町家を若者による面白い活動の場に役立てたいという話題提供者に対し、高齢者が集まる場、若手の作家が居住し作品を展示する場、マチビトCafe出張開催の場等のアイデアが出された。
9	歩くまち京都 中京区のかくれ場所情報収集	地元密着した観光情報を集めて地元民が案内する観光ツアーを組みたいという話題提供者に対し、中京区にはまだ観光資源が眠っている、信頼できる人の紹介や付き添いがあれば自宅にある文化財等をられるのでは等のアイデアが出た。
10	子どもが遊べる場所がほしい。もっと作りたい	子どもが遊べる場所について。遊び場所は、年齢や、曜日でも変わるが、子育て情報誌には非日常的な場所の紹介が多く、地域の誰もが行ける場所の情報が少ない。遊び場所は、幅広い世代が集まり子どもを見守る場でもあってほしいといった意見が出た。